

議会の動きをみなさまにお伝えします

加西市議会だより



加西の秋を走る
第8回グリーンパークトライアスロンin加西

平成29年度決算を認定しました (P2~3)

- 質疑 (P4)
- 委員会審議 (P4~5)
- 議会報告「市民との意見交換会」(P8~10)
- 一般質問 (P11~15)

11
2018
NO. 157

平成 29 年度決算を認定

総務

建設経済厚生

9月定例会では、平成29年度決算案件（一般会計、特別会計、企業会計）9件が上程されました。総務委員会と建設経済厚生委員会に分かれて3日間審議を行い、認定しました。

一般会計の決算額は、歳入197億7,179万8,429円、歳出196億8,923万2,468円、翌年度への繰り越し3,383万7,000円を差し引いた実質収支額は4,872万8,961円の黒字となっています。

各委員会において、執行者に対し述べられた意見・要望の一部をお知らせします。



一般会計

北条高校

- 北条高校について、市外からも通ってもらえるよう、学校の魅力づくりを通学の手段も含めて検討していただきたい。



ふるさと創造会議

- 地域担当職員について、地域と地域担当職員とのつながりは非常に重要であり、しっかりと連携を取り、よりよい方向に進めていただきたい。

地域活動

- スポーツクラブ21について、各地区において多くの自主的な活動が図れるよう努めていただきたい。

観光

- 問** 観光まちづくり協会と文化・観光・スポーツ課の事務事業のすみ分けはできているのか。

答 観光まちづくり協会の事業であっても、例えばサイサイまつりについては、市民による実行委員会方式ですが、事務局は文化・観光・スポーツ課が行っており、ともに連携しながら事業を実施しています。



- 観光まちづくり協会、観光事業及び各種イベントについては、市が事業として支出するばかりでなく、収入を得ることも心がけその改善が見られるよう努めていただきたい。

プロポーザル

- 公募型プロポーザルについては、早急にガイドラインを策定し公平性、透明性を高めた上での実施と情報開示に努めていただきたい。



健康診断

- 問** 受診者数がなかなか伸びない中で病気の早期発見という意味では、健診の受診を重視していく必要があると思うが新たな方策は。

答 がん検診等を中心にさまざまな角度から健診の重要性を発信して啓発に努めることによって、町ぐるみ健診への参加を促していきたいと考えます。



- 特定基本健診の無料化によっても、受診者数があまり増えていないことから、以前のように地域単位の身近なところでの実施なども含め新たな方策を考案するなどもう少し工夫がいると考える。

福祉

- 定額支給から本人申請に変わった生活保護費の教育支援費のように、制度変更があった場合は、周知と丁寧な説明に努めていただきたい。

移住・定住

- 新設された「きてみて住んで課」では、加西市に住みたいという方々にさまざまな制度、施策があることを、ワンストップで理解できるような仕組みをつくっていただき、シティーブローモーションの先頭に立ち、一番有名な課になる気構えで業務を行っていただきたい。



都市整備

- 道路内民地の実態を調査して課税対象を明確するなど、課税担当課と連携を取って対応していただきたい。

- 公営住宅の公募にあたっては、できるだけ利用してもらえるような状況をつくっていくように努力していただきたい。また、誰も希望しないような公営住宅を維持管理していくのかなど、廃止していくかどうかも含めて方針を明確にしていただきたい。

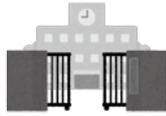


環境

- 剪定枝から作った堆肥や花の土がもっと売れるようにPRに努めていただきたい。

教育

- 行政委員会としての教育委員会について、全国的にも言われている教育委員会の形骸化は加西市でも当てはまるのではないかと。加西市の未来の子供たちのため教育委員会の活性化に努めていただきたい。



- 修学旅行について、鵜野飛行場跡地整備において地方創生推進連携している4市の子供たちの平和学習活動を通じた交流について検討していただきたい。

その他

- 監査機能について、監査委員の果たす役割は非常に大きいものであり、委員としての職責を果たしやすい状況をつくり監査機能の充実強化に努めていただきたい。



- 市ホームページについて、アクセス数がふえている現状を活かし、バナー広告をふやすよう努めていただきたい。

- 絵画「タジカラ男」(白髪一雄画伯作)について、展示される機会がある場合は、市民に周知し鑑賞に行っていただくことも大切であると考えている。



国民健康保険特別会計

- 歩くまちづくり条例による施策の実施の結果、国民健康保険の医療費に及ぼす効果額を算出できるようにしていただきたい。



介護保険特別会計

- 介護事業所やそこで働く人々と連絡を密にして問題点を洗い出し、制度を改善していくために、国にしっかりと伝えていくことに努めていただきたい。



公園墓地整備事業特別会計

- 環境整備や美化に努め、また広く広報も行い、活用されるようにしていただきたい。



水道事業会計

- 利益を計上し、他会計に貸付を行う状況であることから、さらに適正な水道料金を検討していただきたい。



下水道事業会計

- 高利率の企業債の借り換えには、他の自治体とともに引き続き国への働きかけに努めていただきたい。



病院事業会計

問 休床等により看護師13名の減員であるが、今の病院体制の中で看護師の人員はどの程度の規模が必要なのか。看護師は一定しっかりと確保していく必要があるのでは。

答 病棟は看護基準により基本的な人員が定まります。それ以外に、加西病院の場合、外来、訪問看護で看護師数がふえています。経営状況の改善を図るため、近隣他市の病院等もいろいろ見学させていただいているところです。まずは看護配置基準、地域包括ケア病棟の基準に合わせた適正化を図り人員を見直しています。また救急を除く一般外来について近隣病院では、常勤看護師の人員を抑えている現状です。そういったところも考慮しながら、適正な配置を図っていくことを考えています。



問 今後の病院のあり方について、ゼロベースからの見直しとは。

答 4年後には姫路に新病院ができます。北播磨総合医療センター、加古川中央市民病院ができたときの状況を鑑みた場合、同じ状況での運営を続けることはできません。まず加西病院がどのような機能が必要かということ、そして地域包括ケアシステムの中で加西病院がどのような役割を担っていくのか、今の規模でいいのかということの見直しをゼロから始めたいということで、病院をなくすということではありません。市民が安心して暮らせるための医療のあり方は何かというところから、積み上げていきたいと思っています。



- 今の規模の病院だからできる地域での役割があり、それを探っていき、今の状況を改善しながら、地域の安心安全を守るという公的な役割を担っていくように努力していただきたい。

- 大病院への不満の声や加西病院への感謝の声など、市民の声をしっかりと聞き、前に進むように頑張ってください。

9月定例会で提案された議案に対し、3名の議員が質疑を行い、不明確な点を問い、説明を求めました。主なものを紹介します。

議案第 69 号 加西市農業共済条例の制定について



森元 清蔵 議員
(21 政会)

問 農業災害補償法の一部改正の内容について。

答 新しく収入保険制度が追加され、共済制度も大幅に変更されました。名称も、農業災害補償法から農業保険法に改められました。農家の収入の安定と自立、強い農業を推進するという意図がある改正と考えます。

問 具体的な農業共済制度の改正点についてお尋ねする。

答 農作物共済では、当然加入制度は廃止され任意加入と

なります。一筆方式は平成 33 年産までで廃止となり、半相殺方式、全相殺方式、災害収入共済方式、地域インデックス方式、いずれかの選択となります。また、一筆方式以外の引き受けにつき、目視により 50%以上の減収と判定された場合は半損として取り扱う一筆半損特約が新設されました。家畜共済では、死亡廃業共済と疾病傷害共済に分離されます。全ての共済で農業者別危険段階別の共済掛金率が導入され、無事戻し金が廃止となります。

問 現在は当然加入し、3割以上の被害があれば7割の補償でほぼ定着している。市はどういう方向で農家に説明し、改正していくのか。

答 従来の一筆方式の7割補償を基本に、徐々に進めることができると考えます。この一

筆方式は平成 33 年度で廃止となりますが、各農家が最も有利な引き受け方式を選択できるよう情報提供、PR、研修等を実施したいと考えます。

問 加西市の農業共済制度の現状と今後の方向性は。

答 今年度の農業共済事業会計は赤字で、家畜共済の大幅な赤字が原因です。しかし共済事業会計全体では、資本は約 6,300 万円以上の蓄えがあり、危険段階別共済掛金率が導入されることにより赤字も解消され则认为ます。無事戻し金制度は廃止ですが、危険段階別制度の導入で掛金が安くなります。また県では農業共済の1県1組合化を進めており、全体のコストダウンが図られ財務状況も含め、持続可能な共済制度ができると考えます。

委員会審議

総務

建設経済厚生

上程された議案は、それぞれ所管の総務委員会と建設経済厚生委員会に付託し、審議を行いました。

農業共済

議案第 69 号 加西市農業共済条例の制定について

農業災害補償法の一部を改正する法律（平成 29 年法律第 74 号）の施行により、農業者の減少・高齢化、保険ニーズの多様化等時代の変化を踏まえ、農業者へのサービスの向上及び効率的な事業執行による農業者の負担軽減の観点から農業災害補償法（昭和 22 年法律第 185 号）が大幅に改正されたことに伴い、加西市農業共済条例（昭和 43 年加西市条例第 5 号）の全部を改正するもの。

問 これまでは当然加入という土台の上に共済制度が成り立ち全国的に安定した補償を維持してきたが、今後は任意加入となり、被害が少ないところは加入を見合わせるなど加入者が減っていくことも考えられ、そうなった場合に共済制度の基盤が成り立つのか。

答 現在、高い加入率が達成できている理由に農会等でまとまって加入いただいていることがあります。加入率による奨励金を加入促進のために新設しようと連合会で検討しています。また奨励金により掛金や賦課金等の負担も非常に軽くなることもあり、市としてもこの奨励金を活用しながら現在の農会を中心とした加入の形を継続していただこうと考えています。

問 昨年の法改正以降、農業共済制度が大きく転換することや今後の方向性などについて、農会長への説明等は実施したのか。

答 各校区の代表農会長の方へは詳しい説明を行いました。現在と同じ方式が可能な平成 33 年度水稲が終わるまでには、新たな方式への移行も含め説明していくことを考えています。

問 なぜ無事戻し金が廃止になるのか。



答 義務化される危険段階別の掛金率により掛金が最大で標準から50%下がることもあり、無事戻し金を支払うのと同じ効果があるためです。

問 児童、生徒の通学路におけるブロック塀の危険箇所調査について。

答 通学路における危険ブロック塀は、各学校において調査を行っています。今後、関係部署と連携しながら対応していきたいと考えます。



市税

議案第67号 加西市税条例等の一部を改正する条例の制定について

地方税法等の一部改正に伴い、改正するもの。

【個人市民税】

・給与所得控除や公的年金等控除の10万円引き下げに伴い、合計所得金額や総所得金額等が10万円増加するため、非課税の適用範囲に影響を及ぼさないための調整等。

【法人市民税】

・資本金1億円超の普通法人等に対して、法人市民税の電子申告を義務化する。

【市たばこ税】

・市たばこ税の税率引上げ等。

問 法人市民税の申告納付の見直しについて。

答 昨年度、法人市民税の申告があった資本金1億円以上の市内の普通法人は138社です。このうち、現在64%が電子申告をされています。今回の改正により残りの事業所においても電子申告を行っていただくようになります。

議案第76号 平成30年度加西市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について

【歳入】

・繰越金（3億4,123万円）
前年度繰越金の確定によるもの

【歳出】

・基金積立金（3億4,123万円）
前年度繰越金を国民健康保険事業基金に積み立てるもの

問 繰越金の一部で保険税を引き下げることが可能であると考えがいかがか。

答 医療費水準が上昇を続けているタイミングで一時的に税率を引き下げても、今後は税率を引き上げる状況しか生まれないと考えます。また単年度で収支に黒字が生じ、その都度税率を下げたとしても、医療費の変動によっては下げた税率をすぐに上げなければならない状況が起こり得ると考えられます。

さらに税率を下げた反動により、今以上の負担を招く恐れも否定できません。よって、収支の状況に応じて税率を変動させることは被保険者に混乱を招くことにもなるため、極力回避したいと考えています。



討論【反対】 今回の繰越金の額は、平成28年度の税率引き上げ分の4年分に相当する金額であり、全額を基金に積み立てるのではなく、ここ数年の国民健康保険の見通しも含めて、引き下げに当てる部分を明確にするべきである。

補正予算

議案第75号 平成30年度加西市一般会計補正予算（第2号）について

【歳出】

・学校管理費（753万円）
小学校の危険ブロック塀撤去にかかる工事費等の増

決議案

決議案第1号 2025年国際博覧会の誘致に関する決議について

可決（賛成13、反対1）

2025年国際博覧会の誘致に関する決議

2025年に「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする国際博覧会を大阪・関西が一体となって開催することは、新たな産業や観光のイノベーションが期待できるなど、大きな経済効果をもたらすとともに、全世界に向けて圏域の存在感を示す絶好の機会となり、極めて大きな意義がある。

また、このような国際博覧会の開催は、圏域全体のみならず、兵庫県における産業振興や観光文化交流等を促進するとともに、県内各地域の振興や住民の生活向上にも寄与することが期待できる。

よって、加西市議会は、大阪・関西における国際博覧会の開催を支持するとともに、誘致実現に向けた国内気運の醸成など、必要な取り組みを積極的に推進していく。

以上、決議する。

討 論

討論とは、表決の前に賛成か反対かの自己の意見を表明することです。(発言順に掲載)

議案第 69 号 加西市農業共済条例の制定について

可決 (賛成 13、反対 1)

共済加入は全国の農業に携わる人たちが被害を支え合うという考え方のもとに制度化されたと考える。任意加入になれば全体で守るという、共済制度本来の趣旨が大きく変わっていく。引受方式が多様化すればするほど、農会が一律に手続を行っていくことは非常に困難となり、加入者が減少していく。今回の改正は、農村における相互扶助の仕組みを弱め、零細な農家も含め農業のあり方を大きく変えていくものではないか。このような制度の変更は、弱いところに影響を及ぼし、さらに離農する方々がふえていくのではないかと強く危惧する。

反対



井上芳弘 議員



森元清蔵 議員

賛成

任意加入となることで加入者数が減るのではないかとという心配については、加入推進奨励金制度により多くの方に加入していただける工夫がされると考える。一筆方式は平成 33 年までとなり、それ以降は多様な引受方式となるが、各町への説明を行い、よりよい方向を目指していくべきと考える。無事戻し金の廃止に対し、危険段階別掛金制度の導入により最大 2 分の 1 の掛金になる。また、家畜共済についても死亡、廃用と疾病傷害が分離され、一部の被害のない人たちの負担軽減が図られるようになっている。鳥獣害、病害は、必然的に起こる。この制度のおかげで助かったという声は多く聞いている。負担軽減に資する方策を考えながら、この共済制度を維持していただきたい。

議案第 79 号 平成 29 年度加西市一般会計の決算認定について

認定 (賛成 13、反対 1)

こども園について、北条地区、加西地区では全体の整備基本計画を地域協議会で立て進められてきた。教育委員会は、泉地区でも地域協議会で協議をし、計画を定めたとしているが、結果は協議会で策定されるに至っておらず、最終的に委員長に判断が委ねられ、基本的な計画にかかわる答申という形で出され、一気に進めてきたところに違った経緯がある。議論を尽くし時間がかかっても整備基本計画を立て、地域に説明しながら進めるべきであった。

反対



井上芳弘 議員



深田真史 議員

賛成

財政について、一般会計の市債残高は 197 億円までふえており、西村市長が就任した 23 年度決算と比べ 56 億円も増加している。借金返済にあたる公債費が起債（借金）よりも下回る状況が 5 年も続いており、基金残高は県下最低水準の 30 億円となっている。大変厳しい状況であり、今後を憂慮する。徹底した行財政改革の必要性を痛切に感じる。一方、加西市はさまざまな事業を控えているが、市道鶺野飛行場線・豊倉日吉線の工事着手の延期、加西インター周辺の産業団地整備の不確実さ、南部学校給食センターの建設延期、鶺野ミュージアムの地域活性化施設への転換など、慎重かつ着実に、誠実に物事を進める意識が欠けているのではないかと。行政への信用に関わることであり、楽観的な事業計画や説明は自省すべきだ。また、小規模化が進んでいる小・中学校について、新教育長の下であり方の議論を活発化させてほしい。

第271回 加西市定例会議決結果一覧

平成30年9月3日～9月26日

■賛否の分かれた議案（採決順に掲載）

○…賛成 ×…反対

議案	深田真史	丸岡弘満	原田久夫	中右憲利	長田謙一	衣笠利則	松尾幸宏	植田通孝	黒田秀一	井上芳弘	三宅利弘	森元清蔵	織部徹	森田博美	土本昌幸	議決結果
議案第69号 加西市農業共済条例の制定について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)
議案第76号 平成30年度加西市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)
議案第79号 平成29年度加西市一般会計の決算認定について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案認定 (賛13、反1)
議案第80号 平成29年度加西市国民健康保険特別会計の決算認定について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案認定 (賛13、反1)
議案第82号 平成29年度加西市後期高齢者医療特別会計の決算認定について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案認定 (賛13、反1)
決議案第1号 2025年国際博覧会の誘致に関する決議について	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決 (賛13、反1)

■全会一致で適任と答申、可決、認定した議案

- 諮問第7号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて
- 議案第67号 加西市税条例等の一部を改正する条例の制定について
- 議案第68号 加西市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について
- 議案第70号 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園規約の一部変更について
- 議案第71号 農作物共済の無事戻金の交付について
- 議案第72号 畑作物共済の無事戻金の交付について
- 議案第73号 加西市農業共済事業会計事務費の賦課単価の改正について
- 議案第74号 小野加東加西環境施設事務組合規約の一部変更について
- 議案第75号 平成30年度加西市一般会計補正予算（第2号）について
- 議案第77号 平成30年度加西市介護保険特別会計補正予算（第1号）について
- 議案第78号 平成30年度加西市下水道事業会計補正予算（第1号）について
- 議案第81号 平成29年度加西市介護保険特別会計の決算認定について
- 議案第83号 平成29年度加西市公園墓地整備事業特別会計の決算認定について
- 議案第84号 平成29年度加西市農業共済事業会計の決算認定について
- 議案第85号 平成29年度加西市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について
- 議案第86号 平成29年度加西市下水道事業会計の決算認定について
- 議案第87号 平成29年度加西市病院事業会計の決算認定について

議会報告「市民との意見交換会」

加西市議会では、議会基本条例に基づいて「市民との意見交換会」を実施しています。お聞きした意見、要望は、市政に反映するよう努めています。

8月7日に加西市消防団、8月10日には兵庫県介護支援専門員協会加西支部と意見交換を行いました。そこで述べられた意見の一部を紹介します。

加西市消防団



意見

- 少子高齢化に伴い団員数が減少し、高齢になっても交代要員がない。団員は、各町単位で定めている。加西市の12分団のうち第9分団では、6部制を2部制に変えて2部6班制をとっている。これからは、これがモデルケースになり加西市全体もそうなると思う。 
- 市外で働いている団員が多いため、昼間の消防力が低下している。初期消火に当たる人が少なくなった。機能別消防団や特設消防団の立ち上げが必要になってきた。西脇市は機能別消防団が1つ、小野市は特設消防団が1つある。
- 消防団の活動は、出火の際の初期消火と、鎮火後の管理が主な仕事ですが、礼式大会や操法大会等に、最近若い消防団員から不満の声が上がっている。それにどう対応していくか、これからの課題である。 

議会から質問

- 特設消防団についてお聞きしたい。

回答・意見

- 特設消防団とは、昼間でも比較的行動しやすい人材を選任して部を形成し、災害現場にいち早く出動できる組織です。 

要望

- 活動服の更新について、不燃性のものにしたい。加西市で補助してもらいたい。

議会から質問

- 大会場所については、鶉野飛行場跡地の防災倉庫設置後に検討するということであったと思う。礼式大会の場合、大きな場所が必要であり鶉野飛行場跡地で大きな場所を整備するのは困難と考えるが。

回答・意見

- 操法大会場所を今年から鶉野飛行場跡地に変更した。使用場所が荒れていたのを整備して何とか実施できた。2年後には、防災公園の周辺で実施できればいいが、できないのであれば、現在使用しているところをもう少しきれいに整備してほしい。いろんな条件を勘案しても加西市でできる場所は、鶉野飛行場跡地しかない。当面は実施していきたいので、できるだけ使いやすい形での整備をお願いしたい。 
- 今年から1つの分団から2隊であったものを1隊に減らし負担の軽減を図っている。礼式大会では、広い場所が必要であるが、人数を減らし、こじんまりしたものでもよいのではないかと考えている。礼式大会は、加西市独自の方法で行うことができる。 



議会から質問

- ボランティアとして災害派遣に携わってきた中で、災害のあった岡山では、受付係として女性の消防団員の方が活躍されていた。加西市でもそういったことができるのではないかと。

回答・意見

- 北播磨の中では検討されている。また、全国では女性の操法大会があるので、かなりの規模であると思われる。小野市と三木市に女性消防団員が

おり、主に広報活動に活躍されている。加西市でも集めたいとは思っているが、まだまだ難しいと思っている。日本消防では推進している。今のところは、女性消防団よりも機能別消防団をつくるほうを考えている。



その他の要望

- 小野市境に水利がないので消火栓を引いていただきたい。そのほか消火栓ボックスがないところもあるのもう一度見直していただき、新たに設置していただきたい。

兵庫県介護支援専門員協会 加西支部

※ 介護支援専門員とは、ケアマネージャーのことです。

議会から質問

- 介護保険法の改正で課題はありますか。

回答・意見

- 訪問介護で生活援助の部分が介護保険から切り離されていっている。そのために事業所が少なくなり、ヘルパーも高齢化している。
- 3年毎の見直しで介護保険料が高くなり、自立とは何かと問いかげられる場面が多い。制度変更もあり、市民に向けたわかりやすい説明が難しい。高齢者に自立をどう伝え、どう支援のチームが共有するか悩む。
- 小規模多機能型居宅介護施設だが、地域密着型で地域に合わせて柔軟なサービスが提供できる。一定額でいろんなサービスが何回でも利用できるが、他の施設のサービスは受けられない。宿泊代、食事代は実費負担なので利用料が高くなる。
- 介護保険制度がどれだけ市民に理解されているか疑問。他市での監査で「ベットをレンタルしているのでこれは自立ではない」と言われた。ベットがあるので立ち上がりが楽にでき、一人でトイレに行ける。これが能力に応じた自立だと思いが自立の意味が難しい。
- 地区により交通の便、買い物の場所、病院の差が大きい。病院内の移動は、介護保険のヘルパーは利用できない。巡回バスの乗り降り、買い物、移動に何とかならないかの声がふえてきた。加西市独自の助け合い、支援があればいいと思う。



- 家族との同居の有無で援助の内容が変わってくる。特養は要介護3以上なので重度化して業務量が多く負担が大きい。介護職員の人材が不足する中、医療的な問題もふえてくる。施設に入っている期間が短くなっている。
- 同居家族がある場合、生活支援に制限が多くあり、引きこもりの子供から援助を受けられない中で生活をどう守っていくかというような課題がある。改正で生活支援の回数が見直されたが、変更となると家族、本人の理解が得られない。病院に受診にも行けず薬が切れたままの人が多数いる。配食サービスの利用も多く、待ちの状況になる。
- 包括支援センターでは一生懸命に相談にのっていただけると、民生委員の力強さ、ネットワークの強さは他市に負けない温かさがあるので、活躍を期待する。



議会から質問

- 生活支援サポーターは、ボランティア的なものか。

回答・意見

- 社会福祉協議会の地域福祉課に事務局がある。皆さんの持っておられる力を地域の中で発揮してもらいたくて、話し相手とか買い物ならできるといいう方を募りながら、利用者と支援者のマッチングを行っている。30分250円。介護保険を使うまでもないが少し手伝ってほしい場面での制度を使っている。



議会から質問

- 2025年以降にサポーター等人材は間に合うのか。

回答・意見

- 高齢者が増えていく中で、訪問介護事業所が減って、ヘルパーが高齢化している。デイサービスは事業所がふえている。外国人ヘルパーもふえている。



議会から質問

- ケアマネージャーとして市に要望することはないか。

回答・意見

- ケアマネージャーの募集をかけてもなか応募がない。市からも、介護職、福祉は魅力的な仕事であると発信してほしい。
- 交通の利便性を高めるのに時間がかかるならば、必要な方に物品販売車が回る方法もある。

議会から質問

- 介護と自立、尊厳の保持、介護の公正中立・誠実とは。

回答・意見

- 自立とは、自分で自分のことを決められることと捉え、寝たきりであっても自分のしたいことができ、自分の暮らしたい暮らしができることを一番に考えて仕事をしている。これが尊厳の保持につながっていると思う。いろんな提案をさせてもらって利用者に決めてもらうようにしている。
- 利用者にわかりやすい言葉で説明するよう心がけている。
- 市内のそれぞれの事業所が選択できるように、特徴も提示して選んでいただけるよう心がけ、中立・公正が図れるように工夫して取り組んでいる。

議会から質問

- ケアマネージャーの仕事内容は、みんな同じか。

回答・意見

- 介護のプランをつくるのは同じ。居宅介護支援では月1回必ず訪問して状況を確認している。入院されたら在宅の情報を持っていき、退院されたらサービスの検討もする。施設ケアマネージャーは、介護の認定調査がある。



議会から質問

- 軽度の要介護者のサービス対策は。

回答・意見

- 他職種連携で地域包括ケアシステムが動いている。その中で生活支援サポーターの協議会があり、そこにケアマネージャーも参加して問題点を出しているが、十分に対応してもらえない現状がある。
- 軽度の方でも食べることが大事。加西市では弁当の配達が入ってくる。食べるという尊厳を保障すると同時に、元気の確認が心強い一つの支援の内容になる。早く安心して多くの人に使っていただける仕組みを確立して行ってほしい。毎日お弁当が届くことで安心につながっていく。また、地域の中で定期的に集まってみんなと一緒に食事する仕組みができていけばいいと思う。



議会から質問

- 加西病院との連携はどうか。

回答・意見

- 入退院の連携は他の病院よりかなりできている。ケアマネージャーと加西病院の関係はかなりいい。大きな病院では、医師が頻繁に変わるので不安がある。
- 救急は時間外でも受け入れてもらえる。頼りになるよい印象を持っている。



議会から質問

- 要望は。

回答・意見

- 居宅介護支援の権限が県から市になったが、市の長寿介護課職員の専門的知識を高めてほしい。
- 認知症の取り組みを校区であまり差がないように検討願いたい。
- 市が指定権者になったが、担当者によって解釈が違って来る。利用者のための介護保険なので、柔軟な対応をしていただきたい。
- ケアマネージャーだけでの判断がでないときは市に確認するので、なるべくわかりやすい言葉で対応してほしい。
- 認知症の専門の病院が少ない。往診してもらえる在宅医師がふえてほしい。
- 在宅医の先生も高齢化している。介護の仕事や人材確保についてPRしてほしい。
- 今回、ケアマネージャーの仕事を理解しようとしてもらったのがうれしい。一つ一つ一緒に考えていける関係ができれば課題を乗り越えていけると思う。



9月11日、12日の本会議では、10名の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり活発な議論が展開されました。主なものを紹介します。(発言順に掲載)

加西市消防団について



中右 憲利 議員
(21 政会)

- 問** 8月に議会と消防団幹部との意見交換会を行い、さまざまな具体的な要望を聞かせていただいた。主な要望は次の4点。
① 鷯野飛行場跡地に消防団の操法・礼式大会を開催できるような防災公園を作っていただきたい。特に再来年の操法大会は整備された場所で開催できるよう整備してほしい。
② 市の補助をいただき、できれば不燃性の統一した活動服を消防団員全員に支給したい。
③ 昼の時間帯は仕事で市内にいな

い消防団員が多い。他市では機動性を高めるために消防団OBの組織や分団に1部ずつ緊急出動できる団員を選抜し機能別消防団・特設消防団を編成している。女性消防団員も広報、高齢者のケア等に活躍しており、加西市でも組織編成を検討してほしい。

④各町とも若い人が減り、消防団の定員を満たすのに四苦八苦している。部の合併、定員の変更を含め、今後の消防団の形を検討していただきたい。

以上の要望を含め、市として消防団の今後について具体的、包括的に検討していただきたい。

答 消防団に関し、組織のあり方や行政との関わり等について検討すべき時期に来ていると認識しています。そこで今年度、消防団のあり方検討委員会を立ち上げ、具体的に議論を進めていき

たいと考えています。

問 それはいつから、どれぐらいの期間で検討し結論を出されるのか。またメンバーはどのような人たちを考えているのか。

答 時期的には間もなく立ち上げられるよう、人選も含めて検討しています。期間は今年度末を目途と考えています。構成員は、外部の有識者をお願いするとともに、消防署や消防団関係者、区長をはじめとする自治会組織関係者、商工業関係者、婦人防火クラブの方々、消防団員の奥様、消防団の若い世代の方々を考えています。

■その他の質問項目

- ・ 主要道路等整備について
- ・ 空き家バンク等について
- ・ 福祉施策について

北条鉄道について



黒田 秀一 議員
(自民の風・誠真会)

問 交差施設整備事業の概要について。

答 法華口駅に、安全に列車の交差が行える保安システムを導入し、列車の交差設備を整備します。現在1時間に一往復の運行を30分に短縮し、朝夕これまで接続できていなかったJR加古川線及び神戸電鉄粟生線に接続することにより通勤、通学の利便性の向上を図ります。また、イベント列車の単独運行が可能となるため通勤、通学、観光による利用者

の増加を図るものです。

問 取締役会での交差施設整備事業の反対意見について。

答 費用対効果があるのかという意見でした。株主総会で説明と議論を重ね、全会一致で承認を得て、その後の取締役会においても全会一致で承認を得ています。

問 交差施設整備事業の費用対効果について。

答 国が策定している評価マニュアルに基づき、詳細な費用便益分析を行っています。事業費やランニング費用の増加に対し、利用者の時間短縮等、利便性向上の効果がどの程度あるのかを算定します。費用は1年間で1,000万円程度に対し、便益は時間短縮等の効果により1年間で2,500万

円程度と算出し、費用対効果は十分にであると判断しています。

問 交差施設整備事業実施による効果の根拠について。

答 【副市長】費用便益分析でも優位になる結果が出ています。さらに、鷯野飛行場跡地の整備を進めており、市内外から多くの訪問者が現在ふえています。法華口駅を起点とした散策道路も整備しており、今後、周辺整備が進むとさらなる集客が期待できます。交差施設整備事業は、このような事業と相乗効果が得られる事業と考えています。

■その他の質問項目

- ・ 地方創生推進交付金と空の駅について
- ・ 防災について
- ・ 犯罪被害者等支援条例について

包括外部監査導入について



松尾 幸宏 議員
(自民の風・誠真会)

問 議会選出、公認会計士、2名の監査委員であるが、業務内容について伺いたい。

答 監査委員は市の財政状況を認識しながら行財政を総合的に検討し、関係法令に違反していないか、最小の経費で最大の効果が上げられているか、組織の運営合理化に努めているかという視点に立ち監査を行っています。一般、特別、公営企業会計の毎月の現金出納を検査する例月出納検査を初め各会計の決算審査を行い、

意見書を市長に提出しています。財務に関する事務の執行と経営に係る事業の管理等について定期監査を実施し、必要に応じて指摘等を行い、改善内容を公表しています。また以前は、行政監査で健康福祉会館と市民会館の指定管理の事務の執行状況を監査し、現在は定期監査の中で体育施設、善防園、都市公園等の管理担当を含めた指定管理委託料の監査を行っています。

問 他市では包括外部監査を導入し、資産管理・運営、福祉・社会保障を監査テーマに設定し実施、委託費は2年間で1,600万円であるが、交付税措置により実質60万円の経費である。また、監査人は弁護士、公認会計士、行政の実務精通者、税理士の有資格者に限られる。公務員の身分を持た

ず契約により監査を行い、監査機能への信頼感向上が期待される包括外部監査を導入してはどうか。

答 現在、外部監査制度導入の主旨の監査機能の公正性と透明性は一定確保されていると考えます。自治体ガバナンスの強化に向けた平成29年の地方自治法改正の主旨も踏まえ、今後監査基準の策定等により現行の監査委員による監査の充実、強化を基本と考えますが、必ずしも包括外部監査の導入の必要性を排除するものではありません。

意見 外部監査の導入により事務の効率化を行い、外部の目で、現状の政策や事業が適正であるか調査し公表することで、市民が現在の執行状況に納得していただけるものとする。ぜひ導入に向けて検討していただきたい。

加西市の人口について



深田 真史 議員
(市民連合)

問 加西市の人口動態について。

答 今年度4月から8月末の5カ月間で、社会増減（転入－転出）が179人、自然増減（出生－死亡）が△82人、合計で97人増加しています。社会増減は日本人の増加が13人、外国人の増加が166人となっています。

問 外国人がふえているが、その詳細は。

答 加西市の外国人は現在1,117人、国別ではベトナムが

458人、中国が345人、この2カ国で全体の72%を占めています。

問 外国人が増加している要因は。

答 好調な製造業の業績と人口減少での労働力不足によるものと考えます。平成30年6月のハローワーク西脇管内の製造業の有効求人倍率は2.41で、バブル期を上回る数字です。加西市は製造業が盛んで人手不足も顕著なため、それを補うために外国人技能実習生の受入が増加しており、外国人増加につながっています。

問 平成24年7月から住民基本台帳法の改正で、外国人も人口に含まれることになった。外国人がふえてきているが、そもそも市長は「5万人都市再生」や「人口増」は、外国人を含めた数字で考えているのか。

答 【市長】「5万人都市再生」においては、外国人、日本人という区別は全くしていません。平成23年の市長選では、外国人による社会増を全く想定していませんでしたが、人口増の呼びかけは外国人がふえる状況もつくってきたと思います。通常努力で5万人はもう無理だと強く思っていますが、今回予想もなかった状況になっており、引き続き自信を持って「5万人都市再生」に頑張りたいと思います。

■その他の質問項目

- ・ 加西病院の経営について
- ・ 公募型プロポーザルについて
- ・ 戦争遺跡群の文化財価値について
- ・ 市道鷯野飛行場線・市道豊倉日吉線について

台風 20・21 号の対応、消防団員の処遇改善について



原田 久夫 議員
(21 政会)

問 台風 20 号避難準備情報発令の伝達検証について。

答 今回初めての発令により、いろいろな課題が見えました。一部の区長様には、対応についての話をお伺いし集約していますが、全市的に確認していません。今後、情報発信時の対応についての検証を考えています。

問 避難施設の救援物資備蓄について。

答 現在、救援物資の備蓄については、善防、南部、北部公民館及び市役所に確保していますが、避難所に直ちに救援物資が確保できる体制も必要ですので、改めて検証していきます。

問 「消防団の装備の基準」等の改正に沿った安全装備品の貸与が必要ではないか。

答 平成 26 年に消防団員服制基準、消防団の装備の基準について大幅な改正がありました。加西市は以前の基準による装備です。今後、平成 26 年の基準に沿って服制を、また消防団の装備についても必要なものを備えることになっており、ご指摘の部分を含め、必要な装備を検討して配置しなければと考えています。

問 消防団員の災害、訓練出動手当の支給について。

答 現在、出動手当というのは、条例に規定がなく支給しておりませんが、各分団に消防団事務委託料を支給しています。今後、あり方検討委員会を立ち上げて議論し、報酬のあり方等についても検討したいと考えています。

■その他の質問項目

- ・ 台風被害状況及び市職員、消防団員活動状況
- ・ 避難準備情報発令伝達方法について
- ・ 避難所開設（地域公民館含む）関係について
- ・ 福祉避難所の開設状況について
- ・ 防災訓練関係について（市職員の訓練実施について）
- ・ 消防団員の確保及び組織強化（組織再編）について

安全安心なまちづくりについて



丸岡 弘満 議員
(自民の風・誠真会)

問 都染町、野上町、青野町の町境、その後の防犯対策の現状は。

答 以前にもご指摘の箇所の防犯対策としては、県道野上河高線沿いの都染町長池南側に 1 カ所と市道満久都染線沿いの都染町長池北側に 2 カ所の合計 3 カ所に防犯灯を追加設置しました。

問 県道野上河高線については、ようやく地元も考えがまとまり独自の予算で測量も行っていたが前へ動き出している。現在の進捗状況は。

の進捗状況は。

答 地元から拡幅の整備要望が県に提出されており、小印南町の野池から中国自動車道の高架橋の手前までの約 300 メートルは、平成 29 年度に現地の地形測量を実施されています。今後、地域の皆様のご協力を前提として、来年度以降に道路拡幅工事の予算要求を行い、予算確定により工事着手を目指していくとのことでした。

問 中国道泉バス停の駐車場について、これまで公共交通利用促進施策、定住施策、人口流出防止等の効果から拡張整備してはどうかという議論を行ってきた。現在の駐車場の状況も 25 台の枠を超え、指定されていない所や農道への駐車により、地元迷惑をおかけしている状況であるが見解をお伺いしたい。

答 【市長】今、再度安全対策も含め対応しなければならない状況が出ており、前へ進めるための指示をしています。課題として、最初の整備同様、再度、北条バス停周辺の駐車場経営者の方々に相談をしなければならないことや、中国道を挟んで南北両方に整備する場合での土地の確保について、調整をしているところです。そして、定住促進策にもなるというご提案は、私たちも定住促進に生かしていかなければならないと思っており、その状況をしっかりとつくり上げ、早期の実現を図っていきたいと考えます。

■その他の質問項目

- ・ 全国に誇れる「教育都市かさい」の実現について
- ・ 誰もが安心して暮らせる福祉施策について

安全・安心の町づくりについて —災害ボランティアの育成・支援状況—



土本 昌幸 議員
(公明党)

問 防災士の育成についてお聞きします。

答 警察官や消防士あるいは消防団員で一定の階級以上の方、また退職者は研修や試験が免除される等の特例もあり、この有資格者の方に防災士資格の取得についてご検討いただく方向で進めたいと考えています。また職員の防災士についても、市が職員に対して行う資格取得の助成制度に防災士も加えるよう検討し、ふやし

ていきたいと考えています。

問 ボランティアの支援についてお聞きします。NPO 法人として活動するメンバーもおられますが、一般市民の参加がふえるような取り組みが必要と考えます。見解をお聞きします。

答 災害ボランティアの活動をされる方には、高速道路を無料で通行できる災害派遣等従事車両証明書があり、活動される際にはぜひご活用いただきたい。また、市職員については災害ボランティアとして活動する場合は特別休暇を整備しており、積極的な参加を図れるよう推奨していきたい。

問 災害ボランティアの育成支援について。

答 【市長】災害が起こった後の対応は非常に重要であり、その中でボランティアの重要性が大変大きくなっています。今後は市が大きく音頭をとり、必要なボランティアを確保していく。本当に忘れる間もなく災害が発生する中でボランティアの重要性はますます増しており、市全体としてしっかり人数を確保することに責任を持って今後進めていきたい。

要望 加西市は比較的災害が少ない恵まれた地域であり、市としての防災力をもっと向上させていきたい。また被災地域へ支援に行くことも大事な視点であり、これに係る取り組みの推進もお願いしたい。

■その他の質問項目

・教育問題について

加西市地域創生戦略、加西市の教育について ほか



植田 通孝 議員
(自民の風・誠真会)

加西市地域創生戦略

問 「まち・ひと・しごと創生（地方創生）」により、地方の人口減少をとどめつつ地方の活性化を推進する目的で、国と地方が一丸となって頑張るために立ち上げた「加西市地域創生戦略」もほぼ7割から8割方経過を迎える現在、総合的な達成率はいかほどか。

答 外部有識者による加西市元気なまちづくり市民会議は、地域創生戦略の95のアクション

プランと総合計画の取り組み合計196の事業について評価検証を行っています。今年度3回開催し、95のアクションプランの最終年度目標指数に対する達成度は平均で87%という評価数値が出ています。現時点ではおおむね適正であると考えています。

加西市の教育

問 児童生徒が生きる力を育む具体的な教育方法とは。

答 生きる力という言葉、非常に広い概念であり、なかなか一筋縄ではいかない言葉だと思いますが、1つは確かな学力です。もう1つは豊かな心です。さらに健やかな体。いわば知徳体をバランスよく育み、児童生徒に予測が困難なこれからの未来社会において自律的に生きていく、そして社

会の形成に積極的に参加する、そういう力を育てていきたいと考えています。

地域消防団への装備品無償貸与

問 加東市は消防自動車並びに動力ポンプ及び積載車、団員の制服等を無償貸与していると聞かすが詳しい情報は。

答 無償貸与されています。消防自動車はおおむね20年で更新、小型動力ポンプ付き積載車は15年ぐらいが更新基準となっているようです。活動着も難燃性のものではないが無償貸与されています。加東市は消防自動車6台、小型動力ポンプ付き積載車70台が市内全域の総数で、年間3台から4台を更新しているとのこと。

国民健康保険税の引き下げについて



井上 芳弘 議員
(日本共産党)

問 平成 27 年度に高額な新薬のため調剤費が高い状況になり、平成 28 年度には保険税が 8 パーセント引き上げられた。実際は国の手立てもあり、調剤費は落ち着いたが保険税の引き上げだけが残った。補正予算での 3 億数千万円の基金積み立てというのは最近なかったこと。積み立てるのではなく、引き下げの手立てをとることが逆に制度の信頼につながるのでは。

答 平成 29 年度の単年度決算で見ると 2 千数百万の黒字という状況で、仮に 8 パーセントの引き上げがなければ単年度で赤字であったと考えられます。平成 30 年度の全県化に際しての 1 億 2,000 万円近い激変緩和の財源が見直された場合、今回一定活用することによって引き下げたとしても、また大きな引き上げの可能性が高いと考えます。今回の積み立てを将来において平準化を維持していく方向で活用したいと考えます。

問 国保制度における子供たちへの均等割について市長会等で国に対し申し入れをされていると思うが。

答 社会保険では被扶養者数に応じて保険料が加算されることはありません。国民健康保険

では、被保険者数に応じて国保税の均等割額が加算され、幼児や児童、生まれたばかりの赤ちゃんにもかかってきますので、子どもの数が多いと保険税が高くなる制度になっています。この部分について子育て支援、少子化対策の観点や、他の医療制度との公平性を保つため、国の負担による免除や軽減を全国市長会等からも要望しています。

要望 国への要望をすると同時に、18 歳以下の子供に対して均等割を 2 分の 1 に軽減している自治体もある。厳しい財政の中ではあるが、ぜひお願いしたい。

■その他の質問項目

- ・ 高齢者への生活支援について
- ・ 道路整備について
- ・ 教育課題について

児童、生徒の安全について



織部 徹 議員
(21 政会)

問 ことしは非常に暑い夏であったが、加西市では耐震化工事に合わせ、教室にエアコンが設置されており、この暑い時期も乗り切れたと思う。エアコンは児童、生徒の体調管理のため使用されると考える。文部科学省の指示は 30 度にできればエアコンを使用し、28 度に設定とのことだが、実際の温度管理はどうか。

答 最近の児童は、クーラーに接する時間が非常に長いという状況の変化もあります。学校環境衛生管理マニュアルでは夏期

は 25 度から 28 度位が適温とされています。エアコンの管理は教室の担任が行っており、児童、生徒の健康状態を見ながら柔軟に温度管理しています。

問 保健室は体調を崩した児童、生徒が利用しているが、25 度から 28 度位の範囲で温度設定されているのか。

答 児童、生徒の健康状態を見ながら、臨機応変に温度設定をしています。

問 普通教室はエアコンが設置されているが、体育館を含め特別教室等はエアコンが設置されているのか。

答 平成 26 年度に特別教室も含め、すべての教室にエアコンが設置されています。唯一設置されていないのが体育館、武道館です。

問 全校集会や儀式、行事等は体育館を使用することが多い。エアコンの設置は必要と思うがいかがか。

答 体育館へのエアコン設置は、多額の費用を必要とします。大型の扇風機等を使うなど工夫しながら体育館を使用しています。

要望 災害時の地域の第一避難所として小学校は指定されている。その場合、体育館の使用が多いと思うが、季節により暖房や冷房を必要とするときがあると思う。避難所を開設しても、ことしのような暑さの中では、体育館では過ごせない。国の補助金等の動向も見ながら体育館へのエアコン設置を考えていただきたい。

■その他の質問項目

- ・ 学校給食について

市議会トピックス

■ 現地視察の実施報告 **総務委員会**

8月3日に加西こども園、北条ならの実こども園の現地視察を実施しました。現場の先生からこども園の現状について説明を受け、小学校との連携やこどもの体力づくり、不審者対策など意見交換を行いました。

加西
こども園



北条
ならの実
こども園

■ 請願・陳情について

請願書・陳情書はいつでも提出できますが、受付日によって審査が次の定例会になることがあります。

12月定例会での取り扱いを希望される場合は、平成30年11月22日(木)17時までにご提出ください。

加西市議会ホームページのご案内

議会の日程や議案の審議結果などを掲載しています。

また、これまでに発行された議会だよりや本会議、委員会の映像、会議録もご覧いただくことができます。

ぜひ、ご活用ください。

スマートフォンでご覧いただく場合は、下記QRコードもご利用ください。

■ 平成30年12月 加西市議会定例会の予定

月 日	時間	会 議
12月3日(月)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (提案説明等)
12月5日(水)	15:00	発言通告期限 (質疑・一般質問)
12月11日(火)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (質疑・一般質問)
12月12日(水)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (一般質問)
12月13日(木)	10:00	本会議 (予備日)
12月14日(金)	10:00	建設経済厚生委員会
12月17日(月)	10:00	総務委員会
12月21日(金)	9:20	議会運営委員会
	9:40	議員協議会
	10:00	本会議 (委員長報告・討論・採決)

ぜひ傍聴にお越しください!



議会中継
(ライブ・録画) は
加西市議会HPへ



発行 加西市議会
編集 議会だより編集委員会

〒675-2395 加西市北条町横尾1000
[TEL] 0790-42-8790 [FAX] 0790-43-1810
[email] gikai@city.kasai.lg.jp

議会だより編集委員会

委員長 森元清蔵
委員 植田通孝
委員 三宅利弘

副委員長 井上芳弘
委員 松尾幸宏
委員 森田博美